

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">演習 I</p>	<p>対象学科・学年 文学部日文3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">浅尾 広良</p>
<p>授業テーマ 『源氏物語』若紫巻を読む</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>前期は順番に『源氏物語』本文の輪読を行い、物語の読みの可能性を探る。校異および注釈を丹念に検討して問題点をあらい出す。同時代の文献はもちろん、前後の資料をできる限り調査し、本文をどのように解釈し得るのかを考察する。</p> <p>後期は、前期の輪読を基礎として各自に研究発表を課す。発表は一人 30 分以内、400 字詰め原稿用紙 15 枚以上 25 枚以内とする。質疑応答で議論を深め、推敲した原稿を後期の末にレポートとして提出してもらう。</p> <p>なお、個人指導をより効果的に行うために、オンラインを利用したの随時質問を受け付ける。</p>		
<p>評価方法</p> <p>当該科目の成績は、前期の輪読、後期の研究発表、レポートの三者を総合して評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>『源氏物語』古典セレクション 2 (若紫・末摘花・紅葉賀・花宴)</p>	<p>著者 阿部秋生 編</p>	<p>出版社 小学館</p>
<p>参考書</p> <p>授業時に適宜指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション (授業の進め方、年間の計画、評価の方法等)</li> <li>2 源氏物語の諸本、古注釈に関する基礎知識</li> <li>3 輪読発表のサンプル (発表者 浅尾)</li> <li>4 発表者個人指導</li> <li>5 輪読 1 発表・質疑応答・講評</li> <li>6 輪読 2 発表・質疑応答・講評</li> <li>7 輪読 3 発表・質疑応答・講評</li> <li>8 輪読 4 発表・質疑応答・講評</li> <li>9 輪読 5 発表・質疑応答・講評</li> <li>10 輪読 6 発表・質疑応答・講評</li> <li>11 輪読 7 発表・質疑応答・講評</li> <li>12 輪読 8 発表・質疑応答・講評</li> <li>13 輪読 9 発表・質疑応答・講評</li> <li>14 輪読 10 発表・質疑応答・講評</li> <li>15 輪読 11 発表・質疑応答・講評</li> <li>16 輪読 12 発表・質疑応答・講評</li> <li>17 輪読 13 発表・質疑応答・講評</li> <li>18 研究発表の仕方、まとめ方ガイダンス</li> <li>19 研究発表サンプル (発表者 浅尾)</li> <li>20 研究発表個人指導 1</li> <li>21 研究発表個人指導 2</li> <li>22 研究発表個人指導 3</li> <li>23 研究発表 1 (担当 1、2) 発表・質疑応答・講評</li> <li>24 研究発表 2 (担当 3、4) 発表・質疑応答・講評</li> <li>25 研究発表 3 (担当 5、6) 発表・質疑応答・講評</li> <li>26 研究発表 4 (担当 7、8) 発表・質疑応答・講評</li> <li>27 研究発表 5 (担当 9、10) 発表・質疑応答・講評</li> <li>28 研究発表 6 (担当 11、12) 発表・質疑応答・講評</li> <li>29 研究発表 7 (担当 13、) 発表・質疑応答・講評</li> <li>30 後期研究発表のまとめ・演習 II 履修のためのガイダンス</li> </ol>		